

令和6年度第6回別府市人権教育学級

日 時： 令和6年 11月7日(木) 10:00～11:50

場 所： 別府市中央公民館 講座室

テーマ： 部落差別問題

演 題：「部落差別の解消について考える～いのち・つながる・つなぐ～」

講 師： 大分県人権問題講師団 講師 柳井 信一 氏

【講師プロフィール】

- ・ 小学校・特別支援学校等で教鞭をとられ退職
- ・ 退職後、臼杵市部落差別解消推進・人権啓発講師団の講師を務められる
- ・ 2021年からは大分県人権問題講師団講師としても活躍中
- ・ 人形劇サークル「ピッコロ」の代表
- ・ 更生保護司として、地域で支える民間ボランティアとしても活躍中

【講演内容】

ステップ1 はじめに

ステップ2 部落差別をなくすために

ステップ3 心のユニバーサルデザインとは

ステップ4 誰もが「しあわせ」に暮らすために

・「しあわせ」であるということ

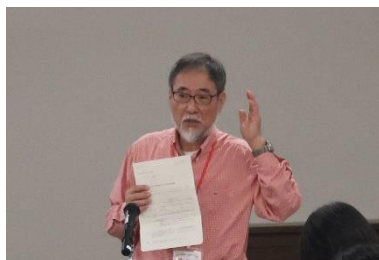
・部落差別問題とは ・部落差別の歴史について

・部落差別問題の現状 ・インターネットと部落差別問題

・個人の尊重 ・助け合うこと ・心の育成

・差別する側の問題 ・今後の生き方

【講演の様子】



<講師 柳井信一氏>



< 講演の様子 >



< グループワークの様子 >

【参加者感想】

- 一番心に残った言葉は、「差別」の反対は「尊敬」という言葉です。とても「ハッ」とさせられました。誰もが「幸せに暮らす権利がある」と思います。
- なぜ差別が生まれたかの歴史の話はわかりやすかったです。私もあなたも幸せであることを願いながら毎日を送っていきたいです。そうすれば、差別をするスキがなくなるのではないかなと思いました。もっと多くの方々に聴いてもらうために、学校の参加人数（保護者）を増やしてもよいのではないかなと思いました。
- こういう機会がなければ、振り返って深く考えることがなかった問題だと思いました。私も差別をなくす当事者になれるということが学べたし、親として子どもと一緒に今後考えていきたいと思っています。
- とても思いやりのある心温まる講座でした。「差別をなくす当事者になる」という言葉が印象的でした。次世代にもつながる我が子たちがより良い世の中にしていくために、親である私たちが、間違った考えや行動をしないようにしていきたいと思っています。
- 鳥取ループ、示現舎について、インターネットで調べましたが、本日の話とつながっていると分かり、部落差別は多岐にわたっていることが分かりました。今の時代は、情報を集めることも流すこともたやすい時代であることを改めて認識できました。自分の身近なところに部落差別がなく、ふわっとしたイメージだけだったので、少し理解が深まりました。